



ENGINEER® の MPDP ダイアリー



高崎 充弘

第23回 所ジョージさんとのご縁！ (えんじん ききょうた ほうしやういん 縁尋機妙多達聖因)

[Profile]

東京大学工学部卒業後、三井造船入社。米国レンスラー工科大学で修士課程修了後、(株)エンジニアの前身である双葉工具に入社。2004年に同社代表取締役社長に就任。独自の「MPDP理論」によるニッポンのモノづくり立国を提唱している。

ネジザウルスのプロモーションを語るうえで絶対に欠かせないのが所ジョージさんの存在です。本稿でも何度か紹介してきましたが、そもそもどのようなきっかけで所さんとのご縁ができたのか、お話ししたいと思います。

2008年10月に届いた1枚の愛用者カードがすべての始まりでした。お客さまの声を営業活動や製品の開発につなげるため「良かった点」や「要・改善点」とともに、「どこでネジザウルスを知ったか？」という設問があり、そのカードには「世田谷ベース」と書かれていました。

これはBSで放送している所さんの番組ですが、「雑誌も出ている」と社員が書店で買ってきました。ページをめくると、「これはスゴイ発明だよ！」という見出しとともに、ネジザウルスの先端を見つめる所さんの顔が大きく映っていました。あの所さんがネジザウルスを愛用し、雑誌で紹介してくれていたことに社員一同、大興奮。

お礼の意味で当社のオリジナル工具を何種類かお送りしてその数日後……、世田谷ベース特製のTシャツやトレーナー、サイン入りステッカーなどがたくさん当社に届きました。「これはスゴイお宝だ！」と独り興奮していたところ、所さんの事務所から電話がかかってきました。

グッズのお礼を伝えると、「貴社の工具をお歳暮に使いたい」というビックリ仰天のオファーをいただきました。

「喜んでっ！」と即答したものの、パッケージの問題が後から浮上しました。所さんがお歳暮に使うのだから、普通の箱では面白くない……。そこで、開封後は手提げの工具箱としても使える「捨てないパッケージ」というコンセプトで開発に着手することになりました。

そして2カ月後「かゆい所に手が届く ネジザウルスと愉快的道具たち」というコピーや世田谷ベースのロゴも入ったカッコいいギフトパッケージが完成しました。

工具セットと大阪名物のタコ焼きをお送りしたところ、所さん直筆のハガキが届きました。

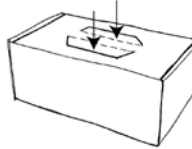
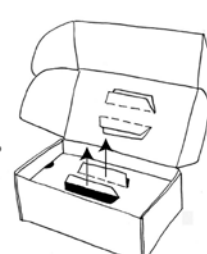
そこには「ネジザウルスはやはり素晴らしい。全日本気がつくまで時間がかかる会 会長」と！「時間はかかるだろうが応援してやるぞ」という所さんの激励のメッセージが込められていたのです。

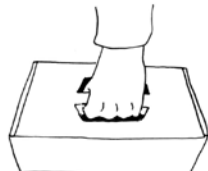

捨てないパッケージ「工具箱」

このギフトパッケージは、手提げの工具箱として使えます。

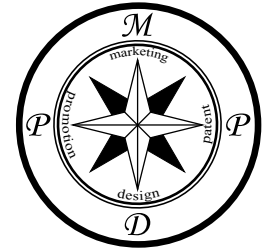
<使い方>

1. フタ部分の切り目を内側に折る。
2. 中敷の切り目を上に折る。
3. 下図の様にフタと中敷を握り持ち運びできる。

提供：株式会社エンジニア



銀：今日はワシからしゃべらせてもろてよろしいか？
ウ：なんやねん、いきなり！ えっらいコーフンして。
高：いつも対談の先陣を切るのはウルスくんだが、たまにはいいよ。ところで、何かな？
銀：じ、実は、さっ、3級に受かりましてん！
高：そうか、知的財産管理技能検定だね、おめでとう！
銀：おおきに！ 嫁と娘も大喜びで昨日は赤飯でしたわ。
ウ：苦節、何回目かの合格やから、そらコーフンするやろなあ（^^♪）おめでとうさん！！
銀：苦節とか、何回目とか、人間きの悪いこといわんとってくれるかな～。まだ2桁いってへんし！
ウ：それ、自慢でけんと思うけどな～（^_^;）
高：銀次郎君は、ひらめきやモノづくりではピカイチなんだが……試験はちょっと苦手なようだね。それでも頑張って合格した根性は立派だよ。
銀：社内13番目の技能士として頑張りましたさかい、今後もよろしゅうおたの申します（^0^）
ウ：ほんなら、そろそろ今日のテーマでっけど、所さんとのご縁ができたのは1枚の愛用者カードからやったっちゃうのは、ほんまでんねんな～。
高：リーマンショック直後で売り上げが急減し始めたころだった。新型ネジザウルスの開発にあたってお客さまのニーズを収集する必要があったんだ。
銀：1000人中わずか7人の少数意見「トラスネジを回したい」が、潜在ニーズに合致してMPDPの出発点M（マーケティング）になりましたん！
ウ：今日はエライさえてますやん。さすが3級技能士！

銀：お前がゆうたら嫌味に聞こえるわ！
高：その1000枚の中に所さんとのご縁ができる「世田谷ベース」と書かれた1枚があったんだ。
ウ：もし、スルーしてたらと思うと……（・_・;）
高：愛用者カードをプロジェクターで投影して全社員が朝礼で見るようにしていたんだが、「世田谷ベース」という言葉がなぜか気になって……。
銀：覚えてまっせ。東京営業所の一人が営業のついでに買ってくることになりましたな。
高：夕方電話があつてね。後にも先にもあれほど興奮した声は聞いたことがない。「しゃ、社長！ す、スゴいっす！ と、所さん！ 全面ッス！」ってね。
ウ：そら、あの写真を見たら誰でも興奮しまっしゃろ。3級合格とはレベルが～（^^ε）
銀：ウツサイわ！ ひつこいやっちゃん。
高：7枚のカードから4代目ネジザウルスが誕生し、1枚に書かれた「世田谷ベース」から所ジョージさんとつながった。愛用者カードにはマーケティングとプロモーションの両方が隠されていたんだね。
ウ：そして、「ネジザウルスGT」と命名された！
銀：これって怖いくらいできすぎてまん～。
高：「セレンディピティー」という言葉があるが、みんなの真剣な想いと行動が、偶然の幸運を呼び寄せてくれたんだと思うよ。
ウ：GTという名前はいつ決めはったんですか？
高：そりゃあもう、最初からだよ。新製品が完成したら所さんとのご縁に感謝してGTにしよう（^^♪）
銀：パッケージにはトラスネジが握めるGrip a Trussって書いてまっけど、本当の意味はちやいまんねん。
ウ：上位機種を意味するGran Turismoと思てはる人もいてるけど、実はGeorge Tokoro! 所さんには足向けて寝れまへん。
銀：ウルスくん、尻尾もアカンで！（^_^;）

